

『留学生は近代日本で何を学んだのか』を刊行

千葉大学の前身にあたる高等教育機関での事例をもとに

このたび、千葉大学国際教養学部 見城悌治准教授が、『**留学生は近代日本で何を学んだのか—
医薬・園芸・デザイン・師範**』（日本経済評論社）を平成30年4月5日に出版いたしますので、お
知らせいたします。

本著は、医学薬学、園芸学、デザイン学、教育学の各分野における留学生たちの修学状況、日本
社会に対する認識、また帰国後の活躍に関して、現在の国立大学法人千葉大学の前身にあたる諸高
等教育機関を事例にまとめたものです。それを通じ、今まで整理されることが少なかった**近代日本
と東アジアの関係史を詳らかにすること、そしてそれを通じて、未来を見通す術を探し今日の「国際
化」に資することを目的としています。**

【目次】

- 第一章 医学薬学分野における留学生たち—千葉医学専門学校・千葉医科大学を事例に
- 第二章 医学薬学を学んだ留学生たちの帰国後の活動
- 第三章 園芸学分野における留学生たち—千葉高等園芸学校を事例に
- 第四章 デザイン学分野における留学生たち—東京高等工芸学校など官立四学校を事例に
- 第五章 師範学校への「満州国」留学生たち—千葉師範学校を事例に
- 第六章 辛亥革命と千葉医学専門学校留学生たち
- 第七章 一九二〇～三〇年代における中国留学生の日本見学旅行—千葉医科大学留学生を事例に

留学生は近代日本で 何を学んだのか

医薬・園芸・デザイン・師範

見城悌治



日本経済評論社

戦前日本で特色ある教育を行っていた高等教育機関に在籍してい
た留学生たちの多様な「知」の受容と「日本」体験、また彼らが帰
国後にその成果をどう活かしていったか、それを総体として把握で
きる、「千葉大学留学生史」には留まらない著書です。

書名：留学生は近代日本で何を学んだのか
— 医薬・園芸・デザイン・師範

著者：見城悌治 千葉大学国際教養学部准教授
1961年生。立命館大学大学院文学研究科博士後期課程修了。
博士（文学）。専門は日本近代思想文化史、東アジア文化交流史。

価格：3,700円+税 仕様：B5版/304頁 発行所：日本経済評論社

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
千葉大学国際教養学部 見城悌治
TEL: 043-290-2206 メール: kenjo@faculty.chiba-u.jp